

まちの元気づくり 高校生の視点から



2月17日、社高校で、生活科学科の1年生のみなさんに向けて、市まち未来課職員が『地方創生』についての授業を実施しました。授業では、将来、日本の人口が確実に減少し、地方から活力がなくなる恐れが強いこと、まちが活力を持ち続けるには、若い世代の力が必要であることを解説。生徒のみなさんには、グループに分かれて、自分の住みたいまちのイメージを書き出し、現在の加東市と比較してもらったり、加東市の長所や短所を話し合ってもらったりしながら、どうすれば加東市がよりにぎやかで、住みたくなるまちになるかを考えてもらいました。

生徒のみなさんからは『三草茶を使ったお茶会の開催』『地域の農産物を使った特産品の開発』など、食と栄養を学ぶ生活科学科ならではの企画や『夜の暗さを利用した星の鑑賞会』といった、弱点を逆手に取ったユニークな企画が出されました。

授業を受けたみなさんは、学んだ内容を、進級後の課題研究に生かされるとのことです。加東市においても、出していただいたアイデアを、今後のまちづくりに生かしていきます。提案、誠にありがとうございました。

学んだ手話を披露



2月5日、滝野文化会館でかとう手話フェスタを開催しました。2回目の開催を迎えたこのイベントは、加東市が実施している手話講座の参加者や、市内サークルなどで手話を学んだ方々にその成果を披露してもらい、手話を一層普及させようという催しで、様々な講座参加者や団体から12組が手話劇や手話歌で参加。そのほか、全国で活躍する手話落語家3人による落語もあり、会場は大いに沸いていました。

尼崎市から来場した岩本千尋さんは「老若男女、様々な方が参加されていることに感動しました。障害の有無にかかわらず、楽しい時間を過ごすことができました」と笑顔でした。

鉄人に教わる和食



2月2日、滝野公民館で、幸せを創る料理教室『あなたも鉄人！和食料理教室』を開催しました。

講師は、料理の鉄人などのテレビ番組でもおなじみの百万一心味 全国天地の会主宰・大田忠道さんと、その弟子にあたる有馬温泉・四季の彩 旅籠料理長の繁本佳奈さん、西脇市・官兵衛の湯代表の前田勝正さんの3人。この日のメニューは、鰻いところ漬け・鯖の棒寿司・若竹のたまごとしなど、本格的な和食料理5品でしたが、講師のみなさんのわかりやすく丁寧な指導により、参加者のみなさんは、料理を次々と完成させていました。

参加した神戸良享さんは「これまで本格的な料理はしていませんでしたが、今日学んだ料理は家でも作り、家族や友達に楽しんでもらおうと思います」と、料理に意欲が沸いた様子でした。

第39回読売新聞社杯争奪北播磨少年サッカー大会



準優勝
社フットボールクラブジュニア
(6年生チーム)



第3位
イルソーレ加東
フットボールクラブ

第23回関西小学生サッカー大会 北播磨大会



優勝 社フットボールクラブジュニア
(5年生チーム・県大会出場)

第11回加東市公募美術展



2月4日から12日にかけて、滝野図書館で加東市公募美術展を開催しました。日本画、洋画、彫刻・工芸、書、写真の5部門に計463点もの作品が寄せられ、そのうち入賞・入選した169点と無鑑査出品3点を展示しました。各部門の受賞者は次のみなさんです。(奨励賞は市内の方のみ掲載・敬称略)

【日本画部門】優秀賞 藤本喜宣(加東市) 皆川憲子(姫路市) 増田洋子(加西市)

【洋画部門】最優秀賞 福田秀行(加東市) 優秀賞 石井明子(小野市) 藤原順一(姫路市)

河野光昭(姫路市) 奨励賞 真柴勝子(加東市) 笹倉詩織(加東市)

【彫刻・工芸部門】最優秀賞 鈴木健司(姫路市) 優秀賞 小林公久(明石市) 山本 靖(三木市) 岡本一彦(加東市) 奨励賞 富士原博美(加東市)

【書部門】最優秀賞 岸本千歳(加東市) 優秀賞 西川純子(西脇市) 奨励賞 金 愛姫(加東市)

【写真部門】最優秀賞 横山正伸(西脇市) 優秀賞 泉田英幸(姫路市) 松本義明(丹波市) 足立 功(丹波市) 奨励賞 出井一彦(加東市)

「税は大切！」 みんなで学ぶ



1月27日、滝野南小の6年生を対象に、市税務課職員による出前授業を実施しました。

社会科で、現代社会の仕組みを学んでいるという6年生のみなさん。税金に関するクイズや『税金を使わず、通学している人だけで学校を建てると、滝野南小なら児童1人につき560万円かかる』などの話に、興味津々でした。

受講した日高心暖さんは「税金の仕組みがないとみんな暮らしていけなくなるから、税は大切だと思います。大人になったらちゃんと税金を納めたいです」と話してくれました。

人権を考える市民のつどい



2月11日、東条文化会館で、人権を考える市民のつどいを開催しました。このイベントは、差別や偏見のないまちを目指して毎年開催しているもので、市内4中学校の生徒による人権作文朗読とともに、新定地区・株式会社ゴーセン・鴨川保育園の全3団体から活動発表がありました。

また、作文朗読と団体発表に対し、兵庫県人権教育研究協会長の有正省三さんによる助言と提言がありました。有正さんは「人権擁護にとって、自ら考え、行動することは一番大切。作文朗読、団体活動発表から、加東市民の方々はパワフルに活動されていることが伝わり、大変すばらしいです」と話しておられました。

節分に巻き寿司づくり



2月3日、米田小の5・6年生が、うれしの学園生涯大学生17人と巻き寿司を作り、交流しました。巻き寿司に使われた米は、児童らが生涯大学生と協力して植え、収穫したもので、米作りのサイクルを学びながら、年間を通して交流を深めています。

児童らは、具材の並べ方などを教えてもらいながら、全校生分の巻き寿司90本を巻いた後、節分にちなみ、今年の恵方とされている北北西を向いて、一本丸ごとほお張りしました。同小5年の伊藤慎士郎さんは「『巻くときに少し押すときれいに巻ける』とコツを教えてもらい、きれいに作れました」と喜んでいました。

まちかど
トピックス

TOPICS

身近な話題など、お気軽にご連絡ください。
広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387